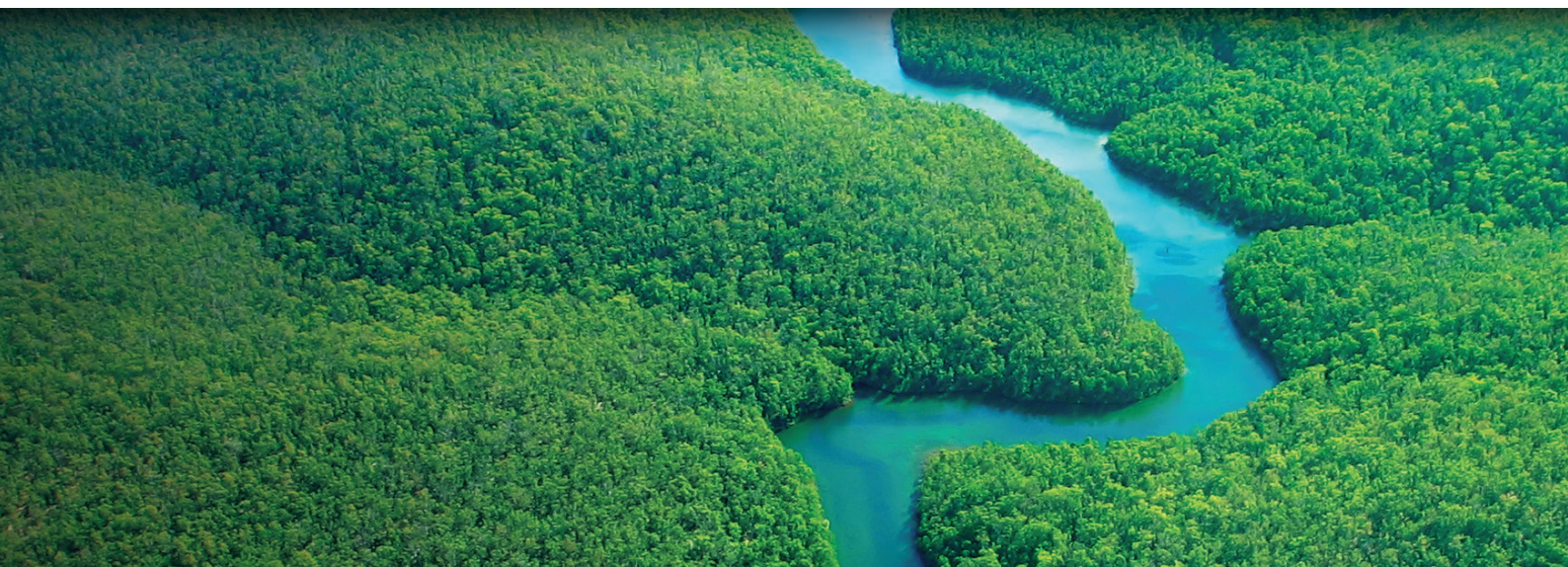


モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント

ESG (環境・社会・ガバナンス) に対するアプローチ



モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント (MSIM) では、ESG 要因は長期的な運用成果に影響を与え得るものであると認識しています。MSIMの運用チームは、さまざまな方法でこれらの要因を検討しており、たとえば、風評リスクや訴訟、その他のリスクの分析がファンダメンタルズ分析の一部となります。運用者は、議決権行使の責任とエンゲージメントに十分配慮しながら、投資先企業のガバナンスを検討します。その際には、MSIMのコーポレート・ガバナンス・チームが中心となって支援します。

MSIMは、運用チーム主導の投資アプローチを通して、お客様のために長期的なリターンを獲得することを目指しています。MSIMは、最適なコーポレート・ガバナンスを事業モデルの基本と考えています。積極的に行動する投資家として、MSIMはその投資アプローチにおいて、長期的に持続可能な事業モデルを確立している企業、ガバナンスに優れた企業を重視しています。運用者は投資を行うにあたり、投資先の業界レベルと企業レベルの双方で、リスクと機会を評価する責任を負っています。MSIMはESGの問題はリスクおよびリターンの両方に影響を及ぼすと認識しており、投資先企業の評価および投資先企業との対話においてESG要因を適宜検討します。コーポレート・ガバナンス・チームが主導的な役割を果たすことで、MSIMは、適切なガバナンスの一環として議決権行使とエンゲージメントに専心しています。コーポレート・ガバナンス・チームは議決権の行使、ガバナンスの分析、エンゲージメント、関連する社会・環境問題について、運用チームと緊密に連携しています。

MSIMは、国連責任投資原則 (UNPRI)、日本および英国スチュワードシップ・コードに署名しています。

優れたガバナンスに対する深い理解

- 議決権行使
- ガバナンス分析およびエンゲージメント
- 社会・環境問題



プロセスおよびエンゲージメント

株式アナリストと運用者は、企業調査プロセスの一環として、ESGなどの要因を評価します。世界各国に配置された運用プロフェッショナルは、投資先企業について深く理解しています。その結果、運用チームと投資先企業の経営陣との間に長期的な関係が培われ、その関係が10年以上にわたり継続している場合もあります。定期的なコンタクトを通じて、長期的リターンに影響を与え得る問題について継続的な対話を持つことが可能になります。さらに、外部の調査やデータの活用は、運用チームがESGにかかわる問題を特定し、長期的な価値に影響を及ぼす問題を抽出するのに役立ちます。

投資先企業の選定プロセスにおいては、企業の経営のクオリティを深く理解することが鍵となります。そのため、投資先企業の経営陣と頻繁に対話し、大きなポジションを保有する場合やテーマが重大と考えられる場合には、積極的に意見交換を行っています。運用チームは、通常の運用プロセスの中で、投資先企業の状況を常に把握し、対話を行います。さらに、株主価値の観点から有益であり必要な場合には、投資先企業の取締役会と選択的に連携を図ります。

詳細については、「MSIMのエンゲージメントに関する原則」をMSIMウェブサイトをご覧ください。

議決権行使

MSIMは、議決権行使を運用プロセスおよび投資後のモニタリングにおける不可欠な部分であると考えています。議決権行使のすべての決定が、運用チームとコーポレート・ガバナンス・チームの協力のもと、社内で行われており、精査することなく経営陣の提案を支持することはありません。コーポレート・ガバナンス・チームは、社内システムを用いて投票根拠を文書化します。MSIMでは、外部の助言機関に頼る、または決まり切った方法で事務的に処理するのではなく、運用チームの深い投資知識とコーポレート・ガバナンス・チームのガバナンスに関する世界的な専門知識を組み合わせ、熟考した上で議決権行使を決定します。コーポレート・ガバナンス・チームは、議決権行使のプロセスを監督し、方針・手順が全世界の投資先企業に一貫して適用されるよう徹底しています。

すべての年次株主総会で期限に間に合うように議決権が行使され、世界のすべての投資先企業でMSIMの方針が一貫して守られるよう徹底するために、管理手法を導入しています。投資先企業の年次株主総会への出席は、ほとんどの場合、生産的ではないと考えます。

報告

コーポレート・ガバナンス・チームは、行われた投票およびお客様を代行した投票に関する議決権行使の記録をお客様に提供しています。また、1940年投資会社法に基づき登録されている米国のオープン・エンド型およびクローズ・エンド型のミューチュアル・ファンドに関してはN-PX filingsを通じて年一回、SICAVファンドに関しては英国スチュワードシップ・コードに基づき英国のMSIMウェブサイト上で議決権行使記録を公表しています。MSIMは長年にわたり、議決権行使プロセスについて、独立した監査法人からSSAE16の評価の中で意見を取得しています。

詳細については、最新の「MSIMの議決権行使とエンゲージメントに関するレポート」をMSIMウェブサイトをご覧ください。

MSIMの目標

MSIMは、お客様の投資目的を達成し、包括的な投資サービスと優れたパフォーマンスを提供し、長期的な関係を築くことで、お客様の価値を高めることを目標としています。ESGなどの要因の潜在的な懸念事項およびそれが投資に及ぼす影響に加えて、その他の多数の投資関連要因を検証・理解することで、お客様に対して長年にわたり安定的に投資成果を提供することができる十分な体制を築いています。本書に関する質問は、コーポレート・ガバナンス・チーム責任者Drew Hambly (mbproxy@morganstanley.com) までお願いいたします。

関連文書：MSIMウェブサイト(www.morganstanley.com/im)の「About Us」セクションで下記の情報を公表しています。

- MSIMの議決権行使方針・手順
- MSIMのエンゲージメントに関する原則
- MSIMの議決権行使とエンゲージメントに関するレポート

当資料はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントが海外で作成したレポートを邦訳したもので、すべての内容はモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメントによるものです。邦訳に際してその解釈や表現に細心の注意を払っておりますが、邦訳による解釈や表現の違いが生じる場合は英文が優先し、我々は一切の責任を負いません。当資料に含まれる情報等の著作権その他のあらゆる知的財産権は我々に帰属します。我々からの事前の書面による承諾なしに、当該情報を商業目的に利用することを禁止します。

当資料は情報提供のみを目的としたものであり、金融商品取引法、投資信託及び投資法人に関する法律に基づく開示資料ではありません。また、商品の売買の助言もしくは勧誘または我々が提供するサービスに関する勧誘を意図するものではありません。

お問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社

〒100-8109

東京都千代田区大手町1-9-7

大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

tel: 03-6836-5100

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第410号

一般社団法人投資信託協会会員、一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

www.morganstanley.co.jp/im

Morgan Stanley